



持水まちづくり協議会 たより

平成20年6月19日
持水まちづくり協議会
NO. 20

今のところ、次の予定
があります。

- 一、持水幼稚園・つくし第二保育園の発表
- 二、小学校児童の詩吟
- 三、キッズダンス
- 四、健康体操
- 五、明和太鼓
- 六、しよんがいのソーラン

一、夏まつり実行委員会から
お知らせ
二、「できることから運動」
についてお願い
三、シリーズ自治会(その二)
みどり苑から等々
二枚構成です。

お知らせ
持水夏まつり(八月二日土曜日)
実行委員会より

・準備作業について
当日・午前九時より準備作業
を行います。役割等については
後日お知らせしますので、よろ
しくお願いします。
・シャトルバスについて
前回お知らせしましたように、
各地区の駐車場の選定をお願い
しています。
・オーニング(演技発表)について

夜店の出し物と担当地区			
山添町	輪投げ	山 楽	おにぎり、焼きそば
みどり苑	カキ氷	豊原町	駄菓子、ジュース くじ引き、アイス クリーム、きゅうり スティック
清 菴	フランクフルト、とう もろこし		
櫛田町	綿菓子	伊賀町	ポップコーン
商工会	金魚すくい	はつらつ クラブ	冷やしぜんざい

各夜店について

大変だとは思いますが、地域
の人が集う唯一の機会だと思
います。左のようにお世話をおか
けますがよろしくお願いま
す。

環境問題対策プロジェクト
「できることから運動」
についてお願い

持水まちづくり協議会では、
本年度の重点事業として環境問
題対策で「できることから運動」
を計画しました。
「できるところから運動」は、
各家庭がそれぞれの自主性を大
切にし、環境問題等に関する四
つの項目(「あいさつ」「資源」「
み」「マイバック」「ゴミ減量」)
に取り組んでいただくものです。
文字通り、できる家庭から、で
きる項目から取り組み、最終的
に地域を挙げて環境問題の改善
に貢献しようとするものであり
ます。

・打ち上げ花火について
昨年は、天候の関係もありま
したが、実施日を間違えた方が
ありました。祭り気分を盛り上
げるためにも今年は花火を実施
日の朝に打ち上げさせていた
きます。
まだ、十分決定していない中
でのお知らせです。変更点があ
るかも知れません。ご留意くだ
さ。

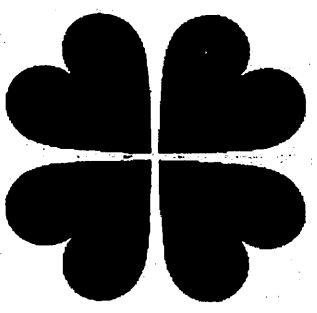
**持水・ごみ減量推進協力家庭
できるところから運動**

持水まちづくり協議会
持水・平成22年11月

《啓発推進カード》

実施にあたっては、取り組み
項目を示した「啓発推進カード」
を各家庭の入り口ないし、門の
入り口付近(郵便ポストなど)
に掲げ、前を通る人に取り組み
がよく分かるようにしていただ
きます。

重大さに気づくことが大切です。
そして、家族が協力し合って取
り組み、それが他の家庭にも口
伝えに伝わり、地域に広がって
いくことを期待します。ですが
ら、どの家庭も義務的や強制的
になつたりして、いきなり項目
の全てにシールを貼って達成し
ようとするものでは決してあり
ません。近所住民が取り組み
について日頃の会話の中で互
いに啓発し合い、一つずつ達成し
ていってほしいです。
ところで、取り組み項目の中
の「あいさつ」は、他の項目と
関係のないように思われますが、
決してそうではありません。あ
いさつの交わせる仲になって心
が通い、それが潤滑油となって
一層、他の環境の項目の取り組
みが地域に広がり達成されると
考えています。



《できるところからシール》

そして「啓発推進カード」に
ある四項目の内、達成できたこ
ころへ、「できるところからシ
ール」を一枚はがして「啓発推
進カード」へ貼って、四項目を埋
めて達成しているこうとするもの
であります。
何と言っても「できるところか
ら運動」の取り組みでは、地域
の人々が少しでも環境問題につ
いて考え、まずその取り組みの

シリーズ自治会(その二)

わが町(みどり苑)の紹介

望月 三佐男

「みどり苑」の誕生

現在みどり苑には九十八家族が暮らしています。昭和四十六年から四十七年にかけて埋め立て造成され、分譲された土地に各自思い思いに住宅を建てた。

住民は、旧松阪市内は勿論のこと、県内の各地、県外からも南は九州から北は関東まで集まっています。

みどり苑は当初、伊賀町自治会に昭和五十三年までお世話になり、五十四年から新しく自治会が発足しました。

無からの出発

自分たちには故郷の思い出や自慢があるけれど、みどり苑で生まれ、育って、ここを故郷とする子供達には、思い出になるような事が無いのでは寂しいという声があがりました。

大人も子供も楽しめる事と手探りで始めた納涼大会は毎年趣向を凝らし、三〇年間続いて、嫁いだ子供達も孫を連れて里帰りするまでに定着しています。

記念モノユメント

平成元年、自治会発足一〇周年を記念し、ここに住んだ証として陶壁モノユメントを作ることに決定しました。

七十四家族に粘土板を配り、名前、似顔絵など趣向を凝らして彫り込んでもらい陶芸を趣味とする近藤さん夫妻には粘土板作り、乾燥、着色、焼付、貼り付けをしていただき陶板が出来上がりました。

陶壁の製作はデザイン・設計・鉄筋加工組立・型枠・コンクリート打設などみどり苑住人それぞれの技術を生かし、四平方メートル、横から見るとキリンのように見えるモノユメントを完成させました。

二〇周年には、その後にみどり苑にこられた二十一家族の陶板が追加されています。



意識の高まり

この記念モノユメントの製作からみどり苑の協力体制が強まり、自分に出来ることを生かし、地域を良くしようといふ積み重ね、

集会場の軒、案内板、落下防止柵、防災倉庫などの製作、防犯灯の設置などが出来ました。

また、みどり会・子供会などの活動、苑内花づくり、自主防災組織、防犯パトロールも活動しています。

みどり苑も高齢化が進みつつあり、この様な活動を通じ、これからも住民同士が協力し、助け合い、住み良い町創りを進めて行くことが重要と思います。



力を合わせた運動会

掃水小学校 野呂悦子

「みんなで協力して、笑顔いっぱい楽しい最高の運動会にしよう2008」をテーマに、今年も、学校・園と市民体育祭が一体となった運動会を盛大に開催することができました。春の運動会になって二年目となりますが、地域の皆様の協力のもと、運営面もスムーズに行うことが

できました。ありがとうございました。



二週間という限られた練習期間でしたが、子どもたちは最大限の努力をして、その成果を発揮することができました。当日は、全力で走る姿や息を合わせて演技する姿、係活動ががんばる六年生の姿を見て、改めて子どもたちのすばらしさを感じることができました。運動会を通して、子どもたちは、最後まであきらめずに努力することの大切さや仲間とともに力を合わせて演技することの楽しさを感じとってくれたのではないかと思います。

この運動会の取り組みが、一年間を通しての体力づくりやなまづくりへと続いていくように今後も進めていきたいと思えます。

シリーズ あいさつ

地域のひと々と私

気持ちのよいあいさつ 掃水小 五年生

豊原町 伊藤 彩

私は地域のおばさんといつも「おはようございます。」とあいさつをしています。あいさつをすると、何か気持ちがよくなります。低学年のときは自分からあいさつができなかったけれど、五年生になって気持ちがでてきて、たくさんの人と挨拶ができるようになりました。

これからも地域の人や友達やたくさんの人といっぱいあいさつをしていきたいと思えます。(二枚目につづく)



なるべく自分からあいさつ

榎田町 三宅 彩花
榎田町 五年生

毎朝、通学路の中で、地域の方が道に出てあいさつをしてくれています。私は、学校であいさつが大きなものと分かったので、いつも大きな声であいさつをしています。そして、なるべく自分からあいさつをしています。

なぜかという、自分からあいさつをすると気持ちがいいからです。だからこれからも自分から地域の人やたくさんの人にあいさつをしていきたいなと思っています。

あいさつを運んでください

東部中 二年生

伊賀町 加藤 夏芽

私は、あいさつがまだできていないほうだと思います。でも、自分から地域の人たちに挨拶ができないときがあります。

私から見て地域の人たちからのあいさつは多いと思います。

でも、時々自分からあいさつをしても、返してくれない時があるので、少し困ります。あいさつをした時はちゃんと返してほしいです。私はこれから、どんなあいさつを自分から進んでできるようにになりたいと思います。もしも自分からできなくて

も、地域の人たちからあいさつをされたら、ちゃんとあいさつを返していきたいです。

あいさつはとても大切だと思います。一日の始まりの「おはよう」はぜひ言わないといけないと思います。一日の初めの言葉でもあります。「おやすみ」は一日の終わりの言葉。あいさつには一つ一つ意味があります。あいさつをする方もされた方もとても気分がよくなりま

シリーズ 「あいさつ」について

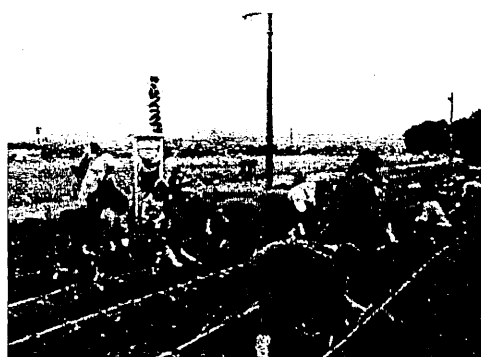
本年度は、中学生と小学校高学年の皆様については、単に「あいさつ」についてでなく、「地域の人々と挨拶」というように、地域の人々と関わった文を書いていただくようお願いしています。

さつきまき苗植付けに

参加して

豊原町 木田 香次郎

五月三十一日(土)天候不順によるも予定通りJ.A松阪、清水倉庫前に十三時三十分集合参加者は祖父、父母同伴児童高学年



約三十分程度で植付けは完了しましたが、どの人の顔もほっとした明るさでした。自分もこんな経験は初めてでしたが、地域全体に幅を広げていただければと思っただ次第です。代表から「十月の収穫祭を期待しております。ご家族同伴でお越しをお待ちしております。」

係員等で五十数名だった。会長、連合自治会長の挨拶と紹介があり、野中はつらつくらぶ代表より参加のお礼と植付けの説明を受けて、用意していた畑に参集後、前日の雨で畝間が泥るみの中、素足や長靴、手にはゴム手袋と移植ゴテ等思

いおもいに身を固め係員の指導のもと、足を泥だらけにしながらも要領良く家族同士、友達同士が仲睦ましく、ほほえましい限りでした。

知って得する昔の話

裏榎田の大雷寺跡

と挨拶されてお別れしましたが、係員の方最後までお疲れ様でした。御礼申し上げます。

榎田には奈良時代に栄えた大雷寺という七堂伽藍の大刹(たいさつ：大きな寺)があつたという。その跡地といわれる所は、今、田畑になつているが、当時は倭姫命の古榎田神社と並び神仏分離の今日と違い、本地垂迹により同社の鎮守または別当寺であつたと見られている。今もその地方に舎別当、塔ノ本、大蓮寺、鏡付田、古榎田、社、西遥拝、東垣内、井戸垣内、奥の垣内、室垣内、雨寺、河原コモン、塚本、槻本などの地名が残つていて、その面積の広大だったことが伺われる。

大雷寺は、南は豊原地に、西は和屋地に境を接し、北は社の地に隣接した地域に造営されていたものと考えられる。

昭和の榎田川ダム土地改良区幹線水路工事で奈良朝時代の同寺のものと思われる瓦頭や布目互が出てくる。光蓮寺縁起には天正の頃、織田の軍勢の兵火にかかつて焼かれ、この時、大雷

寺の蓮が飛んだ由来によつてこの光蓮寺が創建されたと伝わるが、いつの世にかこの光蓮寺もなくなつてゐる。



この地は、小山だったのが近鉄宇治山田線開通の工事に土砂を提供した為、現在は平坦地になつている。また、ほ場整備が行われ、下七見方面に抜ける二車線の道路が通つている。将来は近鉄線高架にて県道三七線に接続の計画もある。

伊賀町 三宅 忠行

埴水自主防犯パトロール隊

結成 開成記念式典が

開催される。

六月十二日、午前九時より、下村松阪市長様、永田松阪警察署長様をお迎えし、三銀榎田支

店前で開催されました。また、式典には掃水幼稚園児二四名も参加して、式典に和やかさを出していただきました。

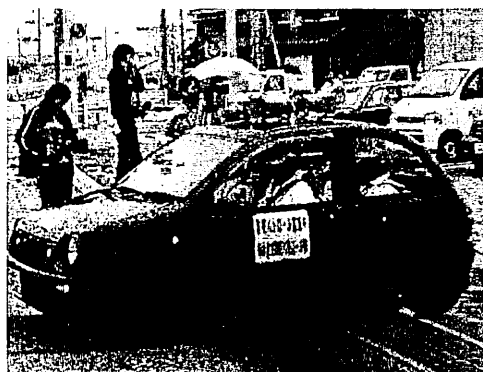
各地区から加わった隊員も今では、五十名を越し、月に十回、三日に一度の割合で地域の安全・安心を願ってパトロールを實踐しています。巡回している、地域の方からはお辞儀をしていただいたり、手を振っていただいたりして地域にすっきり定着したようです。



また本年、一月から三月までの三ヶ月間のことですが、当地域の盗難をはじめとする発生件数は、昨年の十八件から今年は五件に大きく減少し、地域の安全安心に貢献していることは間違いのないようです。

これも、地域を守っていただいている三浦駐在さんのもとより、自主的にパトロール隊員として活躍していただいております。

す隊員さん、自治会会長さんはじめ地域のかたがたのご理解とご協力の賜物であります。



ところで、日本は大変な状況になってきつつあるようです。

盗難、強盗、ひったくりなどは日常的になり、過日の東京秋葉原で起こった無差別殺人事件はいつどこで起こるかわからない状況になりました。これらの事件で共通しているものは、どれもこれも人と人との心が繋がってない状況があり、それが大きく原因となっているようです。今、地域のみんが安心安全について真剣に考え、また、これからの掃水自主防犯パトロール隊の継続発展を図ることが大切であります。家族でも、学校でも、会社でも真のあいさつ運動を一層推進し、心のつながりを高めることが大切だと思います。

榊田地区文化祭

芸能発表会終わる

公民館活動部

六月八日(日) JA本店三階において、芸能発表会が盛大に行われました。

公民館活動の成果を、皆さんの前で発表する絶好の機会に、延べ一五〇名の方が舞台上に上って腕前を披露されました。演技は、昨年九月から活動を始めた大正琴をオープンニングに五八組の方々が午後四時まで熱演されました。

グランドゴルフ大会

終わる

公民館活動部

六月十五日(日)掃水小学校運動場において、各地区から十四チーム八十二名のみなさんが参加して、三世代間交流を目的にグランドゴルフ大会が開催されました。お天気にも恵まれ、和気あいあいとした雰囲気でおこなわれたゲームは、一チーム六人で八ホールの合計打数の少ないチームが上位となります。体育委員の皆様方、選手集め、当日早朝からの準備等お疲れ様でした。ありがとうございます。

結果は次のとおりです。

〔団体の部〕

- 一位 豊原Cチーム (総得点 一七四点)
- 二位 榊田Bチーム (総得点 一九一点)
- 三位 榊田Cチーム (総得点 一九三三点)

〔個人の部〕

- 小学生
- 一位 南出 翔汰 さん (得点 三一点 伊賀町)
- 二位 大井 涼平 さん (得点 三二点 豊原C)
- 三位 柿本 瞭 さん (得点 三五点 清音)

大人

- 一位 大井 清見 さん (得点 二五五点 豊原C)
- 二位 松本 公孝 さん (得点 二六六点 山添)
- 三位 藤原 昭善 さん (得点 二七七点 豊原C)
- 六〇歳以上
- 一位 中川 晃 さん (得点 二四四点 榊田C)
- 二位 太田 音次郎 さん (得点 二六六点 豊原B)
- 松井 文雄 さん (得点 二六六点 榊田C)
- 奥田 勝 さん (得点 二六六点 榊田A)

